

学校だより



平安

9月号

あったかハートで Hey!安心!!

関東大震災から100年

学校長 中村 浩子

夏休みになるころから、毎日のように熱中症警戒アラートが出されたり、お盆のころには、台風で航空機や電車のダイヤが乱れたりしたので、今年の夏休みは計画通りにいかなかったことが多かったと思います。そのような中でしたが、普段とは違う充実した夏休みを過ごすことはできましたでしょうか。コロナ禍以前のような、地域での盆踊りや神輿巡行が再開し、今まで開催できなかった花火大会等、制限のない中での行事への参加が楽しめたかもしれません。

さて、2023(令和5)年は関東大震災が発生してから100年目という節目の年になります。私たちが実際に災害現場をテレビ等で目にした平成7年1月17日の「阪神・淡路大震災」や横浜でも地震の怖さをより実感した平成23年3月11日の「東日本大震災」に比べると100年前の関東大震災には、どうしても目を向ける機会が少ないかもしれません。少し調べてみると、関東大震災の際、横浜市では、震度6の地震で35000棟以上の家が全壊や半壊、焼失してしまい、約26000人もの方が亡くなっています。このような震災が起こらないように祈るばかりですが、もしもに備えておく必要は、学校も家庭も地域もあるかと思っています。

そこで、今年度は地域防災拠点訓練に多くの方のご協力を得て、子どもたちも参加させていただくこととなりました。例年は、地域の方々が避難所を運営する側と避難してきた住民側の両方を行ってきましたが、今年度は平安小学校の子どもが避難者役として参加します。例えば、6年生は避難者として、体育館で受け入れ手続きを行います。受け入れ側の地域の方も、今まで一度に100人近くが避難してくる想定で訓練はしていませんでしたので、より災害時に近い状況になるかと思っています。1・2・5年生はプールわきに設営されたトイレを見学し、便座に腰掛けてみる予定です。地震で学校に避難したときに使用するトイレがどんなものか知ることができる良い機会だと思っています。3年生は備蓄庫にある食料を運び、その物資の仕分けをします。今回は、参加した児童全員にその物資が配られますので、ご家庭で期限内に試食してみてください。4年生は消防団のお力添えをいただき、放水訓練を体験します。各学年とも、できうる範囲でさまざまな体験をさせていただく予定です。

9月2日(土)は、学校では総合防災訓練を実施し、地域防災訓練に参加し、引き渡し訓練で保護者の方と下校するという防災のことを学ぶ一日にしたいと思っています。引き渡し訓練前には、南門側のサッカーゴール裏にある防災備蓄庫の様子を見ることもできますので、保護者の皆様にも見学していただき、お子さんとご家庭で防災について考える日にしていただくと幸いです。



2023年
関東大震災 100年